

訃 報

日本微量元素学会理事の鈴木和夫先生(千葉大学薬学部教授)が平成20年7月15日に急逝されました。享年65歳でした。ここにお知らせ致しますとともに謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

先生は、昭和46年3月東京大学大学院薬学研究科博士課程を修了され、東京大学応用微生物研究所研究生、米国スタンフォード研究所研究員、昭和49年4月東京薬科大学助手、昭和49年11月国立公害研究所研究員、室長を経て、平成4年1月に千葉大学薬学部教授に就任されました。千葉大学では評議員、副学府長を務められ、今春、平成20年3月に定年退官されたばかりでした。

研究面では、金属と生体との関わりに興味を持たれ、生体内における金属関連反応をバイオメタルと化学反応として捉え、スペシエーション分析(金属を化学形態別に分離)を駆使し、カドミウム、銅、セレン、ヒ素等の毒性発現機構や代謝機構の解析などの分野において卓越したご研究をされました。

先生はわが日本微量元素学会の第4期の編集委員長、副理事長として、また第13回学術大会の会長として、本学会の発展に中心的役割を務めて来られました。また他に学会関係では、日本薬学会における関東支部長、理事など、学会役員としてその発展に貢献されて来られました。

ここに、ご生前のご厚情に深く感謝すると共に、先生のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

なお、突然の悲報でしたので、役員、評議員の方々にはお知らせいたしました。会員の方々には十分な情報が入らず、お悔やみを申し上げることが出来なかった方々も多いことと察します。そこで、機関誌19巻4号には親しい方々からの追悼文を掲載させていただく予定です。日本微量元素学会を代表してお知らせ申し上げます。

平成20年7月15日
日本微量元素学会
理事長 荒川 泰昭

**BIOMEDICAL
RESEARCH
ON
TRACE ELEMENTS**

Vol.19 No.3 2008



Japan Society
for Biomedical Research
on Trace Elements